都市再生整備計画（第4回変更）

とよかわイナリズム地区

愛知県　豊川（とよかわ）市

平成21年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	愛知県	市町村名	豊川市（とよかわ）	地区名	とよかわイナリズム地区	面積	164 ha

計画期間	平成 17 年度 ～ 平成 23 年度	交付期間	平成 17 年度 ～ 平成 21 年度

目標

大目標：住んでいいじゃん！訪れてもいいじゃん！「とよかわイナリズム(豊川稲荷☆住む)」のまちづくり

目標1 ： 日本三大稲荷のひとつである豊川稲荷の門前町を含む中心市街地の活性化

目標2 ： 定住人口増加(街なか人口定着)による継続的な地域再生及び都市再生の実現

目標3 ： 安全・安心のまちづくりの推進

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

本地区は、日本三大稲荷のひとつである豊川稲荷により「観光のまち」として賑わってきたが、レジャーの多様化、ライフスタイルの変化、信仰心の薄れなどを背景に観光客が減少しており、地域経済も低迷し、まちの魅力が薄れている状況である。

現在、当該地区では、この現状を打破しようと、市民や商業者たちが主体となり、「できることから始めるまちづくり」を合言葉に、まちづくりに取り組んでおり、地元の機運が盛り上がっている今こそが、市民と行政が協働して事業を行うチャンスである。

地区内のうち、豊川駅西地区は、豊川稲荷という観光名所を持つ門前町として商業が盛んであるが、旧来の土地利用形態のままで、大型店舗の影響、後継者不足の問題などを抱え、商業の近代化への移行に苦慮している。

また、駅東地区は、交通の便に大変恵まれたところでありながら、住・商・工の混在した土地利用に加えて、所々に農地も点在している状況であるため、平成7年度から土地区画整理事業を実施している。

現在、両地区は鉄道によって分断されており、姫街道の踏切での交通渋滞など、さまざまな弊害が発生しているが、平成8年度に豊川駅東西自由通路、平成9年度に自転車専用地下通路が完成し、東西の一体化が進められている。

平成16年度には、地域再生計画に基づく支援措置を活用し、まちづくりを推進するとともに、全国都市再生モデル調査を実施しており、まちづくりに関する準備が整った地区である。

（当該地区は、平成15年度から平成16年度のまちづくり総合支援事業の事業地区を包括した地区である。）

課題

基盤整備と地域経済の活性化

・当該地区は、市街地形成の歴史が古く、基盤整備が遅れているため、土地区画整理事業、公共下水道事業等の基盤整備の推進が必要である。

・当該地区は、観光商業の衰退が深刻であるため、地域経済の活性化に資する道路景観整備等の基盤整備、住民や商店主たちのまちづくりを支援するソフト事業などの推進が必要である。

・行政の行うハード整備だけではなく、地域住民や商店主たちが行うまちづくりの動向を把握し、「中心市街地活性化」という共通の目標に向かい、協働し、双方の事業が相乗効果を生むことが必要である。

将来ビジョン（中長期）

良好な市街地の基盤が整備され、豊川稲荷などの観光資源を有して、観光拠点としての役割も果たす中心市街地

・豊川市総合計画において「豊川稲荷を資源とした観光商業地、また、駅に近接した地区に業務機能の集積を図り、拠点性を高める。」と位置づけられている。

・豊川市総合計画において「土地区画整理事業等により良好な住宅地を供給するとともに、商業・業務機能の集積を図る。」と位置づけられている。

目標を定量化する指標

指　標	単　位	定　義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
乗降客数	人／年	JR豊川駅及び名鉄豊川稲荷駅の年間合計乗降客数	「訪れてもいいじゃん！」について、交流人口の増加を目標としていることから、来街者数の推移を示す指標として、当該地区の交通拠点であるJR豊川駅及び名鉄豊川稲荷の乗降客数を指標とする。	2,207,543	平成15年度	2,296,314	平成22年度
駐車台数	台／年	豊川駅東駐車場の年間駐車台数	「訪れてもいいじゃん！」について、交流人口の増加を目標としていることから、来街者数の推移を示す指標として、当該地区の交通拠点である豊川駅東駐車場の駐車台数を指標とする。	124,945	平成15年度	143,000	平成22年度
地区内人口	人	地区に係る小学校区の人口	「住んでいいじゃん！」について、人口定着を目標としていることから、人口定着の推移を示す指標として、地区内の小学校区人口を指標とする。	14,877	平成16年度	15,000	平成22年度
道路用地比率	%	地区内における道路用地面積の割合	安全・安心に暮らすという目標の達成度を示す指標として、狭小な道路が多い地区内の基盤整備の推進といった観点から、地区内における道路用地割合の推移を指標とする。	18.0	平成15年度	20.9	平成22年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
方針１：観光商業推進のための基盤整備等及びまちづくり活動の支援 ・当該地区の歴史、文化、風土やそれを支える市民活動などを再度見直し、関連する基盤整備等を推進する。併せて、市民や商業者が行う観光推進に資するまちづくり活動を支援し、観光商業による交流人口の増加を図る。	高質空間形成施設(基幹事業/緑化施設等)、地域生活基盤施設(基幹事業/情報板、駐車場)、観光推進事業（提案事業）、街並み景観検討事業（関連事業）、総合PR推進事業(関連事業)
方針２：街なか居住のための基盤整備等の推進 ・当該地区の歴史ある文化・伝統を背景とした地域コミュニティの増進を図ることによって、「この地域に住む喜びや誇り」を住民に持ってもらい、市外への転居等流失人口の減少を図り、また、流入人口や自然増人口に対応するため、現在進められている各種基盤整備、安全・安心のまちづくりを推進する事業、防災施設の整備等を積極的に行い、観光商業による交流人口の増大を当該地区の定住人口の増加、地域経済の再生のために活用する。	土地区画整理事業(基幹事業)、地域生活基盤施設(基幹事業/緑地、広場、地域防災施設)、公共下水道事業(提案事業)、安全安心まちづくり事業(提案事業)、小中学校防犯・防災対策等事業（提案事業）、防犯ボランティア支援事業（関連事業）

その他

〇住民及び商店街のまちづくり機運が盛り上がっている。
・当該地区では、地元住民及び地元商店街により、「できることから始めるまちづくり」を合言葉にまちづくりを進めている。
・平成15年度からは、「いなり楽市」というまちづくりイベントを地元主体で行うようになっており、月1回の当該イベントでは、1万人から2万人の集客があり、その大きな集客を背景に、これまでまちづくりに無関心であった住民や商店主たちを巻き込み、まちづくりを推進している。
・地区のまちづくり機運が盛り上がっている今こそが、基盤整備と一体となったまちづくりを推進するときである。

〇ハード整備を活かす市民活動が確実に継続される。
・地元でのまちづくり活動は、地元主体で行われており、まちづくり交付金事業期間後もこのまちづくり活動は継続される。また、整備を行った施設を活用したまちづくり(ソフト事業)も行われることが予測されるため、ハード事業とソフト事業が一体となったまちづくりにより、投資効果の高い事業となる。

〇既成市街地からの都市機能の拡散防止効果を有する。（歩いて暮らせるまちづくりの推進）
・当該地区は、本市の中心市街地の区域とその周辺地区であるため、まちづくり交付金による事業を行い、地区魅力が向上することで、定住人口の拡散を防止するため、都市機能の拡散防止(コンパクトシティ)効果を有する。

〇まちづくりの目標達成のための管理体制が既に整っている。
・中心市街地の活性化について、本市の建設部に「中心市街地対策課」が既に組織されており、まちづくりの進行管理など、専門的に行う部署が整備されている。

〇地域再生計画認定(平成16年6月21日認定)を受けた支援事業が行われている地区である。

〇平成16年度全国都市再生モデル調査実施地区である。

〇まちづくり総合支援事業(H15～H16事業実施)の移行地区が含まれた地区である。

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	1,901	交付限度額	761	国費率	0.400

（金額の単位は百万円）

基幹事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	（参考）事業期間 開始年度	（参考）事業期間 終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	交付期間内事業期間 終了年度	（参考）全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
道路														
公園														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム		―			―									
地域生活基盤施設		―	豊川市	直	―	H17	H21	H17	H21	83	83	83	0	83
高質空間形成施設		―	豊川市	直	―	H19	H19	H19	H19	28	27	27	0	27
高次都市施設		―			―									
既存建造物活用事業		―			―									
都市再生交通拠点整備事業														
土地区画整理事業		豊川駅東土地区画整理事業	豊川市	直	53.7ha	H7	H29	H17	H21	1,904	1,550	1,550	0	1,550
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										2,015	1,660	1,660	0	1,660 …A

提案事業

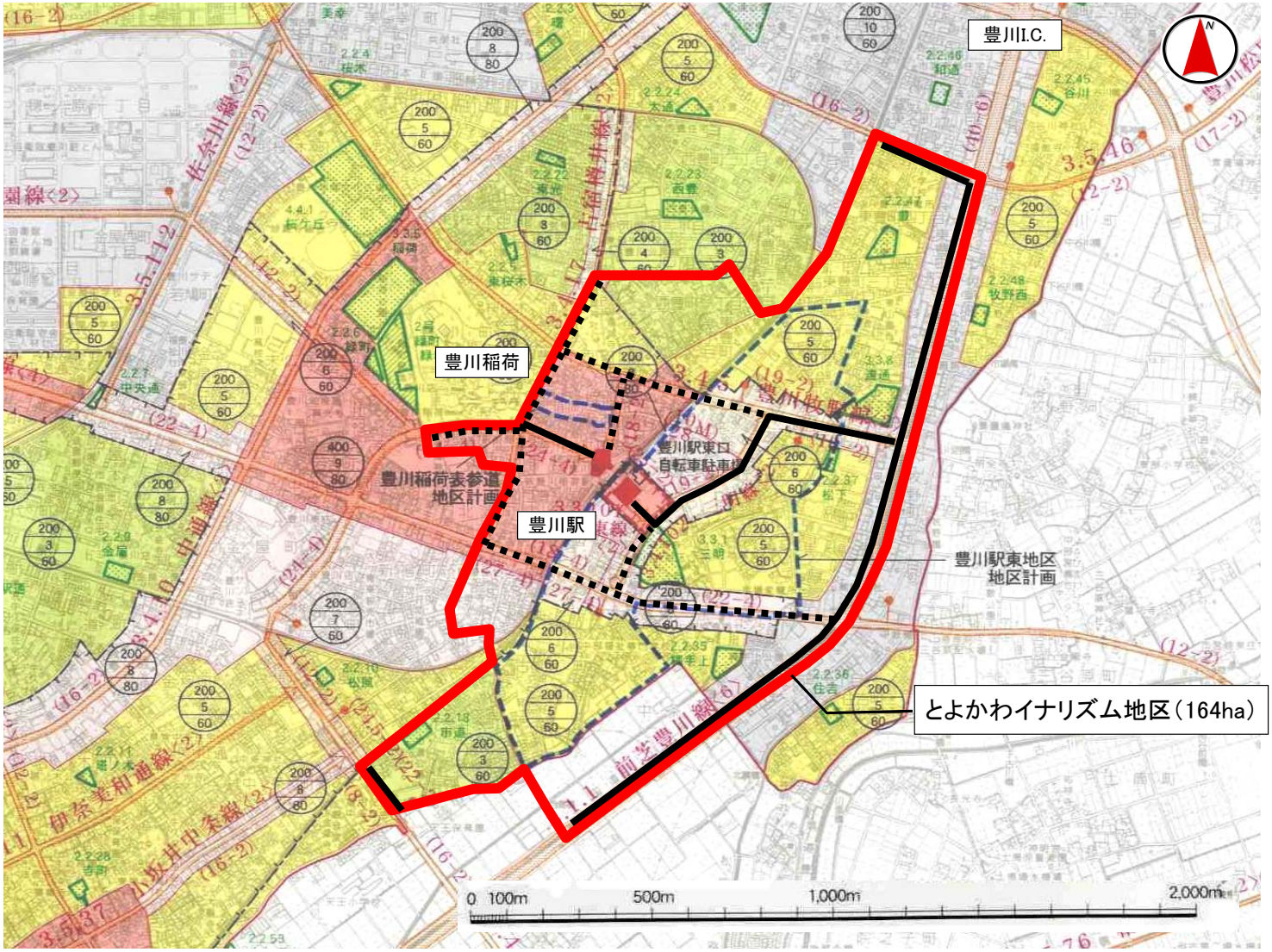
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	（参考）事業期間 開始年度	（参考）事業期間 終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	交付期間内事業期間 終了年度	（参考）全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
地域創造支援事業	公共下水道事業	豊川駅東、豊川豊地区	豊川市	直	96ha	H17	H23	H17	H21	504	209	209	0	209
	安全安心まちづくり事業	とよかわイナリズム地区	豊川市	直・間	―	H18	H21	H18	H21	9	9	8	1	8
	小中学校防犯・防災対策等事業	とよかわイナリズム地区	豊川市	直	1校	H18	H18	H18	H18	1	1	1	0	1
	観光推進事業	豊川地区	豊川市	直	―	H19	H19	H19	H19	20	20	20	0	20
事業活用調査	事業効果分析調査	とよかわイナリズム地区	豊川市	直	―	H21	H21	H21	H21	3	3	3	0	3
		―			―									0
まちづくり活動推進事業		―			―									
		―			―									
合計										537	242	241	1	241 …B
													合計(A+B)	1,901

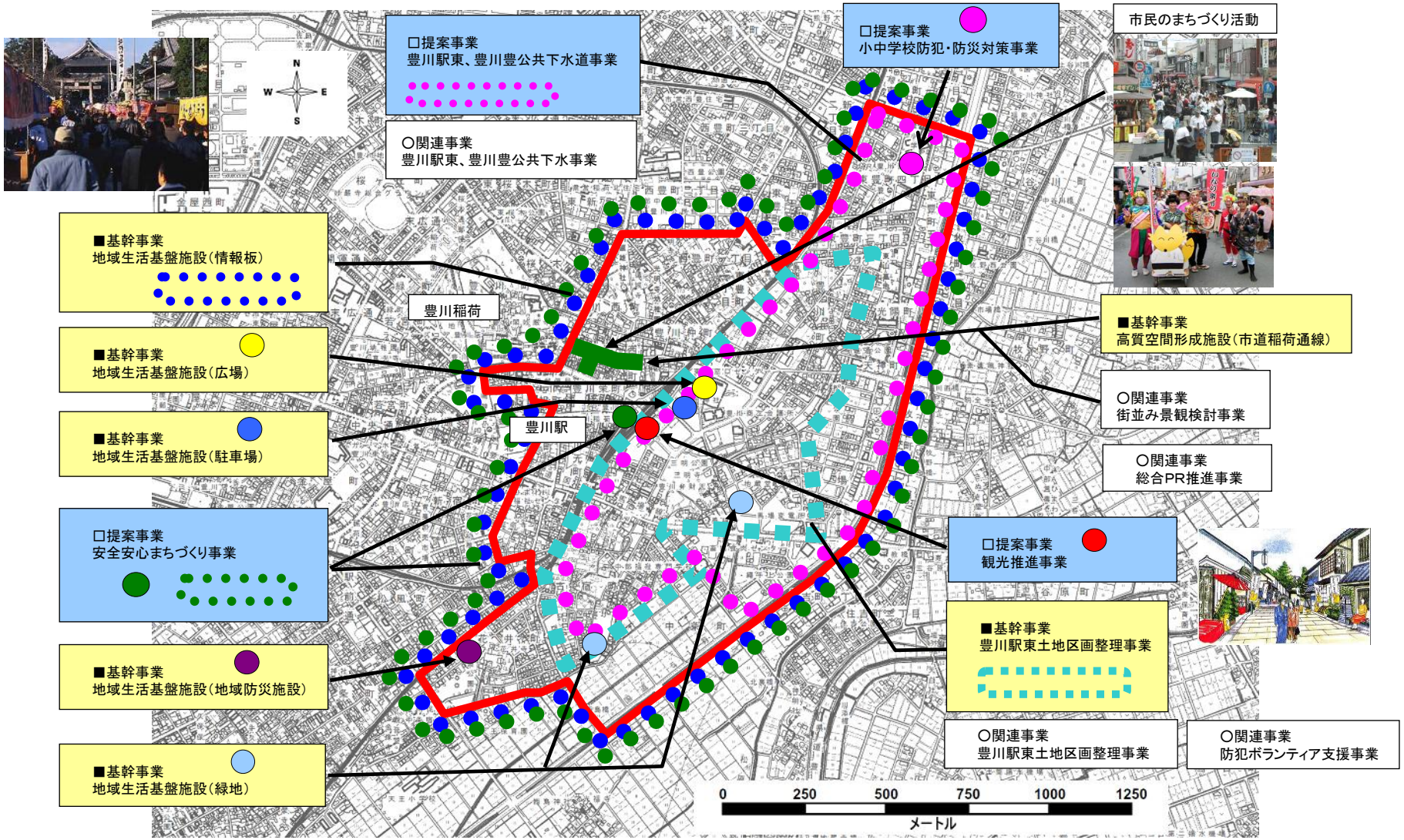
（参考）関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	（いずれかに○）直轄	補助	地方単独	民間	事業期間 開始年度	事業期間 終了年度	全体事業費
土地区画整理事業	豊川駅東土地区画整理事業	豊川市	国土交通省	53.7ha		○			H7	H29	13,696
公共下水道事業	公共下水道事業	豊川市	国土交通省	96ha		○			H14	H23	1,253
中心市街地活性化事業費補助金	豊川地区	TMO	―	―		○			H17	H18	―
TMO推進事業	豊川地区	愛知県	―	―				○	H17	H21	―
防犯ボランティア支援事業	とよかわイナリズム地区	豊川市	―	―			○		H19	H19	1
街並み景観検討事業	豊川稲荷表参道周辺地区	豊川市	―	―			○		H18	H18	―
総合PR推進事業	豊川稲荷表参道周辺地区	TMO等	―	―				○	H18	H21	―
合計											14,950

都市再生整備計画の区域

とよかわイナリズム地区（愛知県豊川市）	面積	164 ha	区域	門前町、西本町、豊川町、古宿町、東豊町他



とよかわイナリズム地区（愛知県豊川市） 整備方針概要図

目標	住んでいいじゃん！訪れてもいいじゃん！ 「とよかわイナリズム（豊川稲荷☆住む）」のまちづくり	代表的な指標						
			乗降客数	（人／年）	2,207,543	（H15年度） →	2,296,314	（H22年度）
			駐車台数	（台／年）	124,945	（H15年度） →	143,000	（H22年度）
			地区内人口	（ 人 ）	14,877	（H16年度） →	15,000	（H22年度）